

定禅寺通活性化検討会 2019年度 活動報告

【2019年4月1日～2020年3月31日】

1. 総括

- 前年度とりまとめた「今後の取組みの方向性の共有に向けた整理」の検討項目などを中心に、幹事会やワーキンググループなどで議論を継続し、定禅寺通エリアの将来像やその実現に向けた取組みについて、実践・検証を積み重ねながら、2020年度のまちづくり基本構想（検討会案）のとりまとめに向け、内容をより具体的なものとし議論を深めた。また、検討内容の有効性を確認するための社会実験を実施した。
- 検討内容やその状況について、広く市民に公開し、意見を収集する機会としてパブリックミーティングを2回実施した。

2. 活動実績

(1) 会議の開催

区分	概要
全体会	<ul style="list-style-type: none"> 正会員42名の参加（委任状行使を含む）のもと、第2回全体会を4月20日に開催し、2018年度活動報告および「今後の取組みの方向性の共有に向けた整理」の報告があった。また、2019年度年次計画が承認された。  
幹事会	<ul style="list-style-type: none"> 幹事会は8回（4月20日、5月27日、6月28日、8月29日、9月20日、12月4日、2月6日、3月30日）開催し、ワーキンググループなどの実施状況をふまえて、方向性の共有や今後の展開について協議した。 特に、まちづくり基本構想（検討会案）の検討に向けて、専門家より計画づくりやエリアマネジメントの基本について、事例を交えレクチャーいただいた。  
基本構想 検討 チーム	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり基本構想（案）の策定に向けて、若手幹事やプロジェクト型ワーキングの代表計8名で構成される「基本構想検討チーム」を中心に検討を進めることが幹事会（12月4日）で承認された。 検討チームでは5回（12月20日、1月17日、2月21日、3月5日、3月16日）の議論を重ね、その成果を「基本構想 議論とりまとめ」に整理した。

区分	概要
ワーキンググループ テーマ型WG	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門家や行政関係者等と意見交換を行いながら、各テーマの論点を整理し、社会実験や基本構想案に反映する。 ※ 新型コロナウイルスの影響等で延期した道路空間再構成WG第3回及び公共交通WGについては、社会状況をふまえながら2020年度の早い時期に実施する予定。
	<p>■道路空間再構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講師：埼玉大学大学院教授 久保田 尚 氏 ・ 定禅寺通利活用の視点、自動車・自転車・歩行者の関係性、周辺道路の自動車交通の流れへの影響などを踏まえた意見交換を実施し、将来形を踏まえた令和2年度本格的な社会実験の交通規制パターンなどの決定を目指した。 <p>□第1回(6/1):アクションアイデアから道路空間再構成を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 久保田氏から、市民参加による道路再編検討事例などを交えた道路空間再構成を検討するにあたっての大切な視点について講義をいただいた。 ・ 後半は、参加者(34名)全員で模型を囲みながら、昨年度の利活用アイデアなども踏まえ、定禅寺通をどのように利用したいかなどを意見交換した。 <p>□第2回(10/30):道路空間再構成のパターンを評価する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回の議論を踏まえて仙台市が実施した交通シミュレーションの結果を共有し、模型を用いて道路空間再構成のパターンを評価しながら、参加者(27名)が専門家も交えたディスカッションを通じ、望ましい利活用空間などについて検討を深めた。 <div data-bbox="459 1048 906 1310"> </div> <div data-bbox="933 1048 1380 1310"> </div>
	<p>■夜の景観(7/24):人を惹きつける街灯り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講師：ぼんぼり光環境計画(株)代表/照明家 角館 まさひで 氏 ・ ご自身が手がける照明デザインの事例をもとに「ひとけを感じる景観」をつくる手法と、その効果について講義をいただいた。 ・ 後半は参加者(29名)の質疑応答や意見交換を行い、終了後、参加者有志で、角館先生のガイドを受けながら、立町での社会実験(LIVING STREET PROJECT:後述)と連動した照明デモンストレーションを体験した。
	<p>■不動産(9/27):お客が集まる店構え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講師：(株)コミュニナ取締役/マーケティング・ディレクター 笠間 建 氏 ・ 店舗の集客につなげるためのマーケティング戦略と店舗ディスプレイのポイントについて講義をいただいた。 ・ 後半は、参加者(16名)が、自店や一般事例店舗の外観・内装の写真を用いた自己診断ワークを通じて、商品演出(展示と陳列)などを具体的に学んだ。
	<p>■緑空間(12/14):西公園とケヤキ等街路樹に関する仙台市施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講師：仙台市建設局百年の杜推進課・公園課、青葉区公園課の担当職員 ・ 仙台市が取り組んでいる西公園の再整備や利活用、ケヤキ並木等街路樹の維持管理について説明をいただき、基礎的な情報を共有した。 ・ 参加者(27名)が、西公園やケヤキ並木に関する施策について仙台市担当者に質問や提案を行った。

区分	概要
ワーキンググループ プロジェクト型WG	<ul style="list-style-type: none"> • 具体的なアクションアイデアを持つ会員グループが、小規模または短期間における試行的な実践を通じて、継続的な実施の可能性を模索し、その課題や成果を基本構想案などの検討に反映する。
	<p>■LIVING STREET PROJECT:立町エリアの歩道の一部</p> <ul style="list-style-type: none"> • 目的： 地域住民等による日常的なコミュニケーションの場として利用されることで、地元コミュニティの強化、若者の出店希望などの愛着を育む • 内容： 将来的な日常化への課題を洗い出すため、歩道に誰でも自由に利用できるテーブルと椅子を設置。テーブルなどの設置・撤去はメンバー（賛同する沿道テナントや不動産オーナー）が毎日実施 • 期間： 1回目6/4～6/17、2回目7/22～9/5、3回目9/30～12/5 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
	<p>■定禅寺ストリートアライアンス:国分町三丁目エリアの歩道の一部</p> <ul style="list-style-type: none"> • 目的： 将来的に、歩道の一部の利活用により収益を確保し、それをまちづくりに還元していく仕組みづくりを行う • 内容： 道路法など利活用を図るうえで課題となる制度の整理などを行いながら、沿道不動産オーナーやテナントなどへの意欲醸成のためのデモンストレーション（ケヤキのツリーサークル間へのソファなどの設置）も実施 • 期間： 5/28～（不定期で課題整理）、デモンストレーションは7/27～28 

(2) 市民参加型ワークショップ等の開催

①「定禅寺通ストリートパーク'19」（10/18～20）

- 検討内容の有効性を確認するため、定禅寺通の一部区間の車線を規制し、歩道や車道の一部を使ってにぎわいや憩いの場づくりを行う社会実験を実施した。
- 仙台市が主に関係機関との協議や交通規制を担当し、プロジェクト型WGが主に規制区域内の利活用を行った。

• LIVING STREET PROJECT:立町エリア

通常の活動よりも多くのテーブルと椅子を歩道や沿道建物の公開空地などに設置して憩いのスペースをつくり、主にケヤキのツリーサークル間には立町・春日町の店舗などがブース出店。にぎやかな雰囲気の中で、休憩や食事、おしゃべりなど、思い思いの過ごし方が見られた。



• 定禅寺ストリートアライアンス:国分町三丁目エリア

7月のデモンストレーションの際にも設置したソファやテーブルなどに加え、沿道建物の軒先へのベンチや、県民会館前の歩道と車道の一部を利用した仙台では初の「パークレット」を設置。車線規制中の車道に配置したキッチンカーなどからテイクアウトした飲み物や食事を楽しむ人、子どものお絵かきや読書をして過ごす人の姿が見られた。



②パブリックミーティングの開催

- 検討内容やその状況について、広く市民に公開・意見を収集する機会として「定禅寺通パブリックミーティング」を2回開催し、収集した意見を検討の参考とした。

■第1回（6/9）

- 「定禅寺通エリアで仕掛ける」をテーマに開催し、139名が参加した。
- 基調講演では（株）グランドレベル代表取締役社長の 田中 元子 氏から、「1階づくりはまちづくり」として、自身が経営する喫茶ランドリーなどの事例を交えてまちづくりにおけるグランドレベルやコミュニケーションの重要性などをお話をいただいた。
- パネルディスカッションでは、まちづくりと日常の豊かさ、経済合理性などの関係性にも話題が広がった。



■第2回（11/18）

- 「歩道と車道の配分を考える」をテーマに開催し、92名が参加した。
- 基調講演では、埼玉大学大学院教授の久保田 尚 氏から、「道路空間再編に向けたヒント」として、ご自身が携わられた事例なども交え、道路空間再構成を検討するにあたっての大切な視点についてお話をいただいた。
- 全体ディスカッションでは、道路空間再構成3つのパターンについての評価などを、参加者や会員が全体で議論した。



（3）定禅寺通エリアまちづくり基本構想の策定に向けた議論とりまとめ

- 基本構想検討チームでの議論の成果として、「基本構想 2019年度 議論とりまとめ」を整理した。



（4）情報発信など

- 定禅寺通エリアの関係者（会員以外も含む）に向けて、ワーキンググループの実施状況や社会実験の周知など本会の取組みについて、ニュースレターを4回（第4号から第7号まで）発行するとともに、仙台市ホームページにおいて情報発信を行った。

以上